

多読クラブ通信（2010年7月）

お知らせ：7/17(土)～19(海の日)は3連休です。また、8月中旬に8日間のお盆休みが入ります。この間、郵送会員の方は発送が停止しますのでご了承ください。詳しくは別紙営業日カレンダーをご覧ください。

新規入荷本のお知らせ

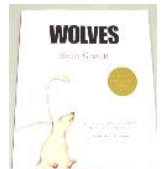
- This is the House that Jack Built YL:1.2 総語数：500

一部の中学教科書にも掲載されている英語の重ね歌の絵本です。CD付き



- Wolves YL:1.8 総語数：300

Rabbitくんは、図書館で『Wolves』という絵本を借ります。絵本のなかで絵本が進みます。勘のいい方には、ウサギとオオカミときたら、どんな展開か薄々想像がつくというもの。しかーし！この絵本は甘くない。最後のオチにはびっくりしました。図書館の貸し出しカードや、封筒に入ったお手紙がついていて、中身を取り出して読めるのが楽しい。他、定番の絵本3冊です。



- Lady with the Alligator Purse YL:0.5 総語数：130

- Peanut Butter and Jelly YL:0.8 総語数：150

- Draw Me a Star YL:0.4 総語数：220（エリックカール）



ORT4の追加版、More Stories Cの6冊セット。

大人気のORTのステージ4に新たに6冊追加出版されました。YL0.4

- Dad's Jacket ●Stuck in the Mud ●The Den
- Look Smart ●Tug of War ●An Important Case



洋版ラダーに6冊追加です。

- Andersen's Classic Stories（アンデルセン物語） YL:3.4 総語数：1240
- Nose（鼻） YL:2.6 総語数：2860
- Aesop's Fables（イソップ物語） YL:3.3 総語数：11400
- Andersen's Fairy Tales（アンデルセン物語） YL:3.1 総語数：8380
- Gon, the Fox（きつねのゴン） YL:2.8 総語数：1770
- First Steps in Reading English（絵で読む英語） YL:1.2 総語数：5360



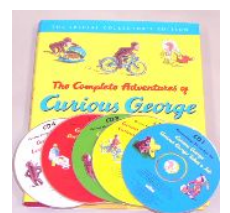
かえるの男の子 Froggy の物語(絵本)シリーズです。すべて YL:1.1 総語数各 500-600。まずは6冊入荷。

- Let's Go, Froggy ●Froggy Plays Soccer
- Froggy Learns to Swim ●Froggy Goes to School
- Froggy Goes to the Doctor ●Froggy's Baby Sister



- Complete Adventures of Curious George YL:1.8 総語数：11900

Curious George(おさるのジョージ)の絵本には、原作者 M. & H.A. Rey が書いたシリーズと、アニメーション版を基にして他の人が描いたシリーズとがありますが、これは原作者が初期に描いた本の7冊合本、読み上げCD5枚付きのハードカバー版です。これは1冊で7冊扱いとさせていただきますので、他の本とあわせて借りることができません。おさるのジョージの絵本は値段と仕入れの都合から全て合冊のハードカバーを所蔵していますが、分けると23冊分になります。



「のっぽのサラ」で有名なパトリシアマクラランの作品から2点、一つは絵本です。

●Who Loves Me? YL:0.6 総語数：300 ほのぼの系です。



●Baby YL:4.5 総語数：17400



ある夏の終わり、主人公の少女 Larkin たち一家は、家の前の道に、籠にはいった赤ちゃんが置き去りにされているのを見つけます。置手紙によると、赤ちゃんはもうすぐ一歳で、名前は Sophie、必ず迎えに行くのでそれまでどうか面倒をみてほしい、というのです。Larkin の一家は Sophie を預かることに決めます。いつかは Sophie の母親が迎えに来るのだから、Sophie を愛するほど別れの悲しみが増す、と分かっている、一家は Sophie を深く愛さずにはられません。Larkin は複雑な感情に苦しめられます。

●ダーリンは外国人 in English YL:2.0 総語数：12000



このマンガシリーズは先日映画になりましたね。高校の教科書でも扱われています。この本は日本語と英語のバイリンガル絵本です。ちなみに今話題の iPad にもアプリ配信されていますよ。

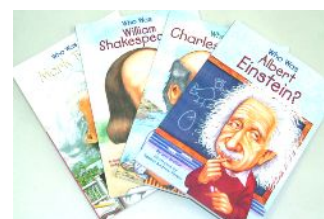
有名人のやさしい伝記、Who was ...? シリーズにまずは以下4巻です。おもしろいと思われた方は追加リクエストしてください。

●Who Was Charles Darwin? YL:3.0 総語数：8500

●Who Was Mark Twain? YL:3.0 総語数：7900

●Who Was Albert Einstein? YL:3.0 総語数：8900

●Who Was William Shakespeare? YL:3.0 総語数：8500



Leroy Brown は Idaville 町に住む10歳の少年、家のガレージで探偵事務所を開いている。両親と学校の先生以外はみんな、彼のことを「Encyclopedia」と呼んでいる。父親は警察署長だが、むずかしい事件がおきると息子の知恵を借りていることは秘密、という設定のシリーズです。1冊の本に10の事件が入っていますので、1話は短く5、6ページで、「さあ、どうして Encyclopedia は犯人が判ったのでしょうか？」式に結ばれます。巻末に解答が載っています。1話が短いという点で読みやすいとも言えますが、アメリカ人の子供の日常語やいわゆる会話表現といわれる慣用句などが多く、学校英語の知識のみだと、それ程やさしい英語とは感じないかもしれません。



●Gets His Man YL:4.5 総語数：10000

●Boy Detective YL:4.5 総語数：10000

●Solves Them All YL:4.5 総語数：10000

●Finds the Clues YL:4.5 総語数：10000

●Case of the Secret Pitch YL:4.5 総語数：10000

●Hell's Heroes YL:5.5 総語数：70000



ダレンシャンの Demonata シリーズ 10 巻目です。

●英語多読法



「多読」を紹介する本はこれまで何冊も出版されてきました。なかにはどうも胡散臭いと思われがちなものもあったかもしれませんが、この本は過去数千人の中高生に対する多読指導の経験、結果をもとに書かれた本で、とても理論的でわかりやすいです。



●今月の Nonstop English Wave はエレンページを特集

この夏も Happy Reading でお過ごしください。ヘンミ